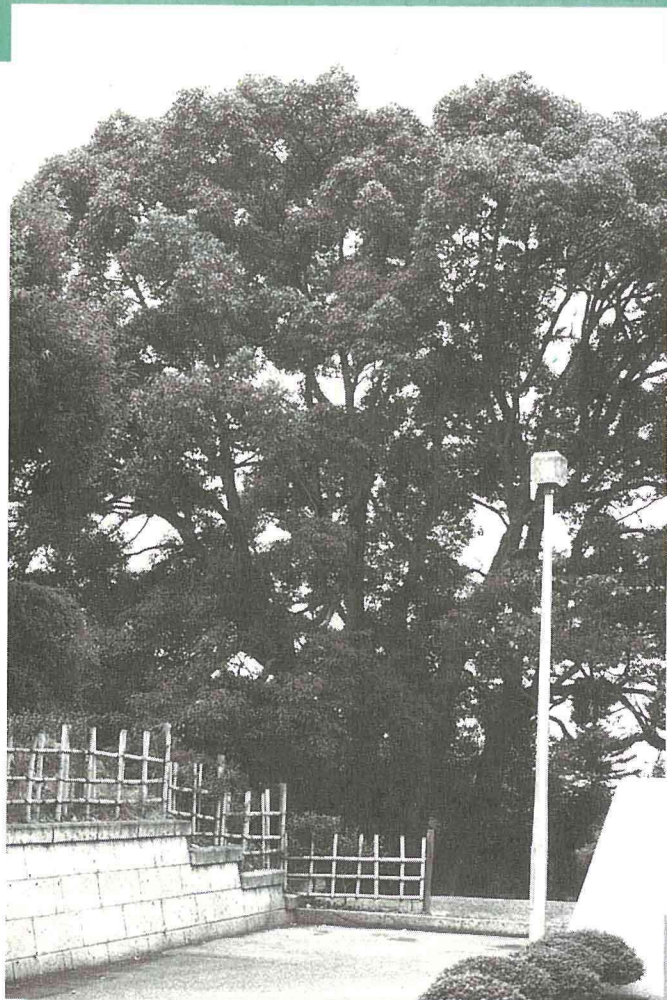


ふあいの 水い 広場



八幡山公園の宇都宮タワーの下にそびえる楠は、樹齢約三百年の大樹。樹高は約二十㍎。根元の辺りから五本の枝に分かれていて、枝張りは東西が約十八㍎、南北が約十八・五㍎にも及びます。花見の時期には、桜一色の八幡山で、楠の緑がくつきりと浮かび上がります。桜が散り終わるころには、黄白色の小花をつけ、周辺にさわやかな香りを漂わせます。夏には、この楠の下は、風通しが良く、絶好の涼み場所。日差しを避け、休息する人がたくさんいます（昭和47年12月8日、市の天然記念物に指定）。



くすのき 「八幡山の楠」

埴田5丁目 上野トモさん

文化財ウォッチング